

日時 平成27年10月27日
午後7時～9時
場所 堀田公民館



- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

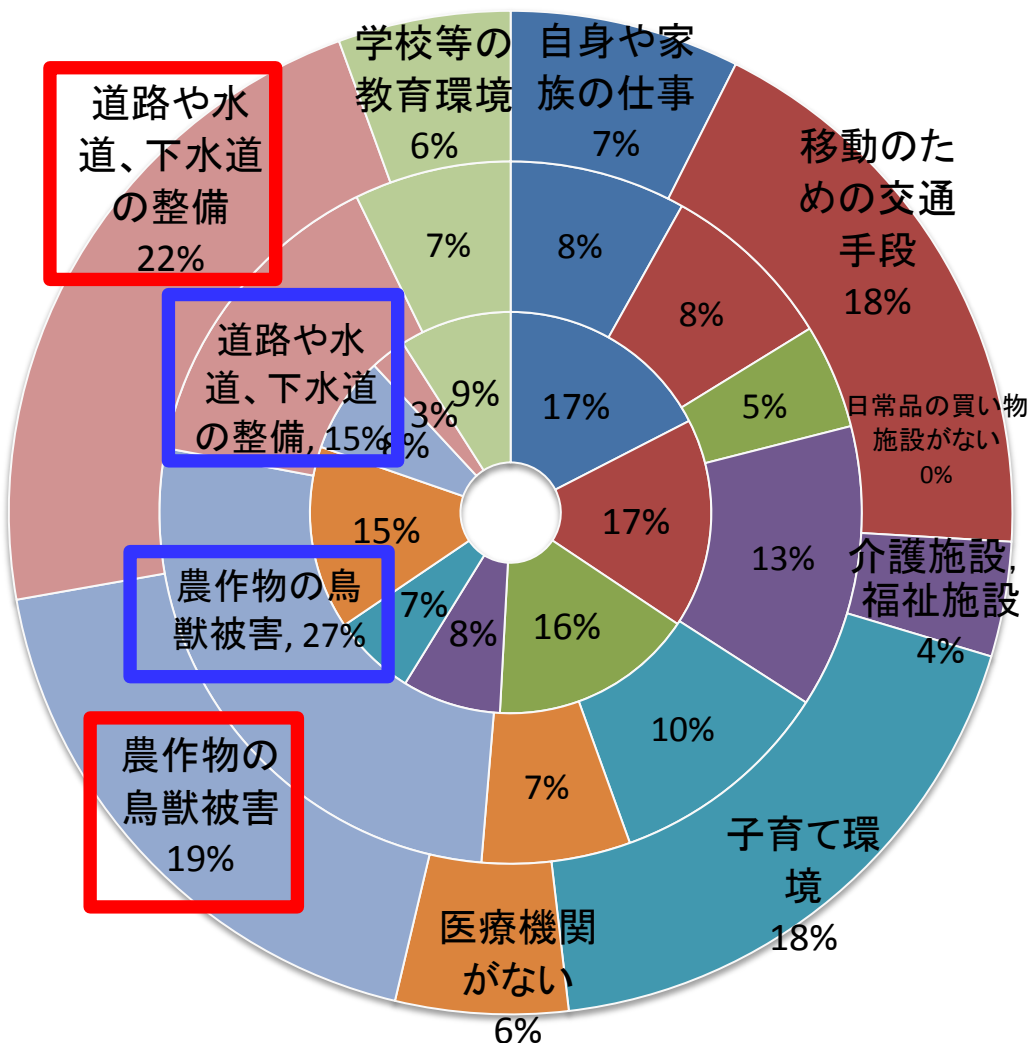
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
商工観光・マーケティング・おもてなしブ ランド課長	清田 義之	商工業、観光等に関すること
地域担当職員	宮下 尚久	(所属) 都市計画・まちのグランドデザイン課
地域担当職員	山下 裕子	(所属) 農林畜産課

昨年のふれあいトーク報告

困り事

日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？



外円: 神代地区
中円: 氷見市全体
内円: 全国農漁村調査結果

関心事

ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？

地域の環境、子育て環境

・氷見市民、人間として「幸せになるには」・・・文化、地域の交流を通じて土木以外の「心の潤い」のアイデアを考えていきたいと思った。
・地域住民が「自発・考動」できるアドバイスがあると良いと思います。

市民の他市への流出

若い人たちの独り立ちについて

氷見市は富山県の中でも福祉サービスが若干他の市よりも遅れていると感じます。特に障碍児・者の相談機能が充実しているといいと思います。

氷見市全体の今後について(財政など)

石坊川洪水。ローカルニュースだけでなく全国版で出るほどのので

公共交通 NPOバス

公共事業について

水害対策をすみやかにしてほしい。有害鳥獣対策を早くしてほしい→被害が出ているのに対策が遅い

市の情勢、皆の意見、対策

人口問題、予算収支、企業誘致、市の借金

市民会館のあり方について(予算、場所、運営のあり方、改修OR新築)

市民会館はこれからは不要ではないか。ふれスポがあるので音楽や劇のステージも設置すればよいのではないかな

市民会館、浸水災害について
災害について

関心というか村にいろいろな問題点があり、ちがう意味で自分の住んでいるところをもっと関心を持って生きていきたい。

対応済または対応中

1701-堀田川の護岸、堆積土砂（継続）
1702-管理不十分の被害は国家賠償になるか
1704-市の活性化はどのように図る（継続）
1706-不法投棄の対策
1707-運動公園全体の進捗状況
25/1185-石坊川洪水対策
25/1187-防災行政無線が聞きにくい

27年度内

1705-大浦工業団地の造成
1713-公共交通がない地区の子ども・
高齢者の足はどうする

可能

未定

28年度以降

1708-神代川に架かる橋梁の補修等
1710-市民会館の関心

国・県等市以外の事業

1703-大浦大池の漏水

参考意見

1709-グラウンドに照明
1712-堀田・神代に下水道

1711-子どもの救急体制

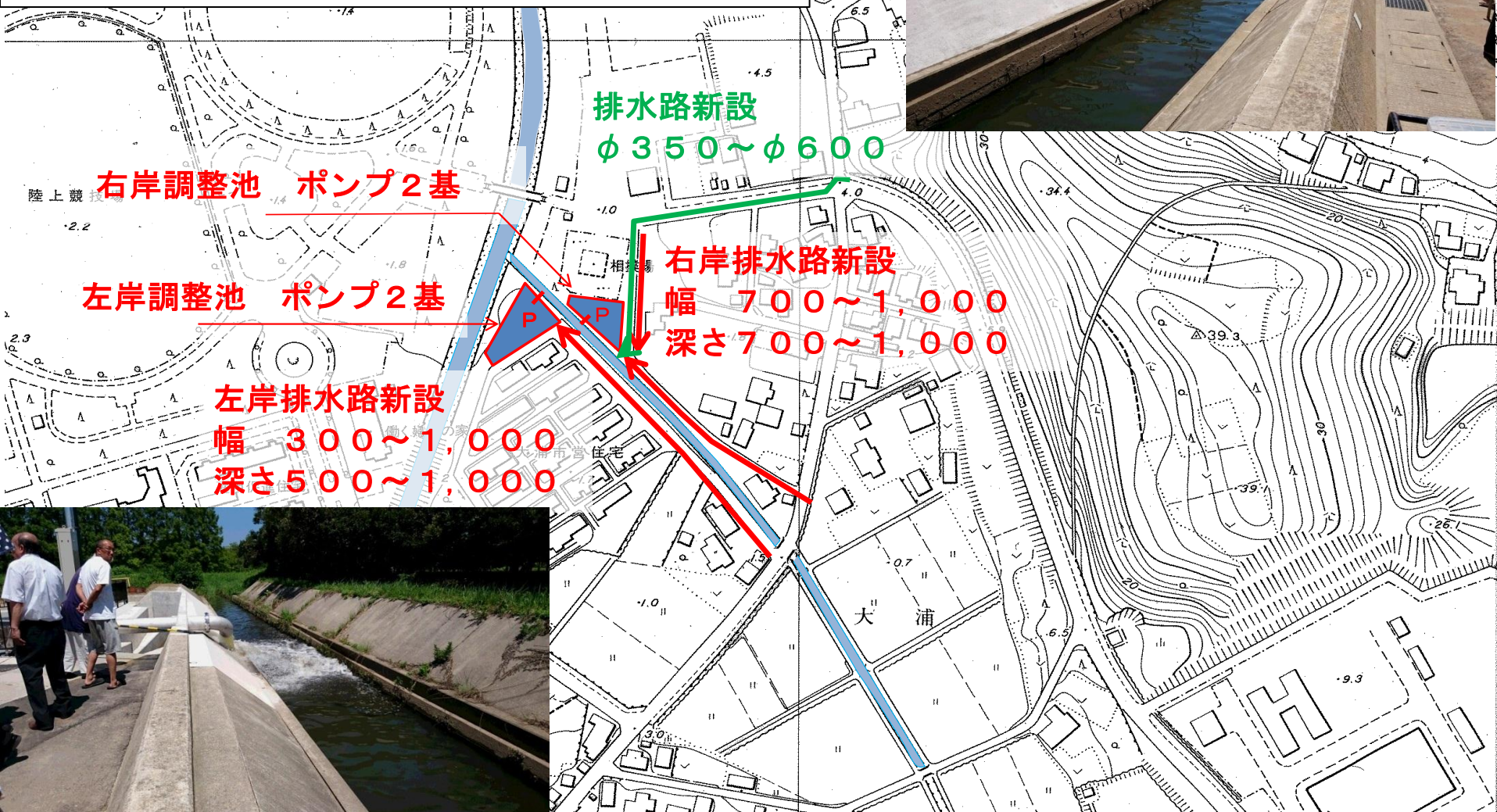
金額 496,800円



大浦地区浸水対策事業

工事年度 H25～H27年度

総事業費 1億5,660万円



氷見市の空き家対策

9

①空き家情報バンク制度

市内の空き家を売りたい・貸したい方に、空き家登録をしていただき、市外の方を対象に紹介

全登録数12軒 神代地区内0軒 (10/26現在)

②セカンドライフ住宅取得補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を購入した場合、購入費又はそのリフォーム費の1/2補助(上限50万円)

③定住促進家賃補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を借りた場合に家賃の1/2補助(月上限2万円・2年間)

④田舎暮らし体験ゲストハウス

市内への移住を考えている方を対象にした、生活体験宿泊施設(最高6泊まで可)

⑤まちなか地区居住支援補助金

まちなかの居住者が、隣接する土地を売買した場合、購入者と売却者に補助

購入者1㎡につき2千円・上限20万円

売却者1㎡につき1千円・上限10万円

⑥住宅取得支援補助金

市内で住宅を取得または増改築をした場合、固定資産税相当額を2年間補助(上限50万円)

ただし対象者要件あり

⑦空き家紹介奨励補助金(H27新規)

空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した方に対し、成約1件当たり2万円を補助

⑧フレンドリー定住モデルコース(H27新規)

主に「子育て世帯」を対象として、知りたい・感じたいことを1泊から2泊で体験していただく。参加費は無料。ただし、島尾ゲストハウスの宿泊費、食費や氷見までの往復交通費は参加者負担

⑨危険老朽空き家対策事業

市街地で土地を含めて市に寄附のあった住宅を市が解体撤去

⑩危険老朽空き家対策事業補助金

廃墟になった空き家の取り壊し費用の2/3補助(上限30万円→**50万円にアップ**)

ただし地域活性化で土地利用することなどの要件あり

空き家情報バンク物件

10

No.	住所	条件	延べ床面積	建築時期
1	氷見市伊勢大町	賃貸	16坪	昭和25年頃
2	氷見市柳田	賃貸	217m ²	昭和52年頃
3	氷見市北大町	賃貸	179m ²	
4	氷見市中波	売却	228.52m ²	昭和43年頃
5	氷見市幸町	賃貸	114m ²	
6	氷見市七分一	賃貸	85.38m ²	昭和50年頃
7	氷見市阿尾	賃貸	175.54m ²	昭和40年頃
8	氷見市南大町	賃貸	101.25m ²	昭和45年頃
9	氷見市朝日丘	賃貸	160.9m ²	昭和41年頃
10	氷見市朝日本町	賃貸	117m ²	昭和46年頃
11	氷見市見内	売却	75坪	昭和35年頃
12	氷見市姿	売却	113.93m ²	昭和48年頃



神代地区の事業概要

実施 年度	工 事 名	工事場所	契約日	完成日	契約金額または 予算額(円)
H27	大浦Ⅱ調査区地籍調査F1・FⅡ-1・FⅡ-2・G工程業務委託	大浦外3	H27.6.23	H28.2.26	15,768,000
H27	大浦地区舗装本復旧工事	大浦	H27.8.10	H27.8.31	557,280
H27	急傾斜地崩壊防止対策測量設計委託	大浦	H27.8.27	H27.11.12	1,350,000
H27	大浦地区安全施設看板設置工事	大浦	H27.9.8	H27.10.31	1,123,200
H27	県営ほ場整備事業費負担金	大浦	H21から継続事業		6,490,000
				H27計	25,288,480

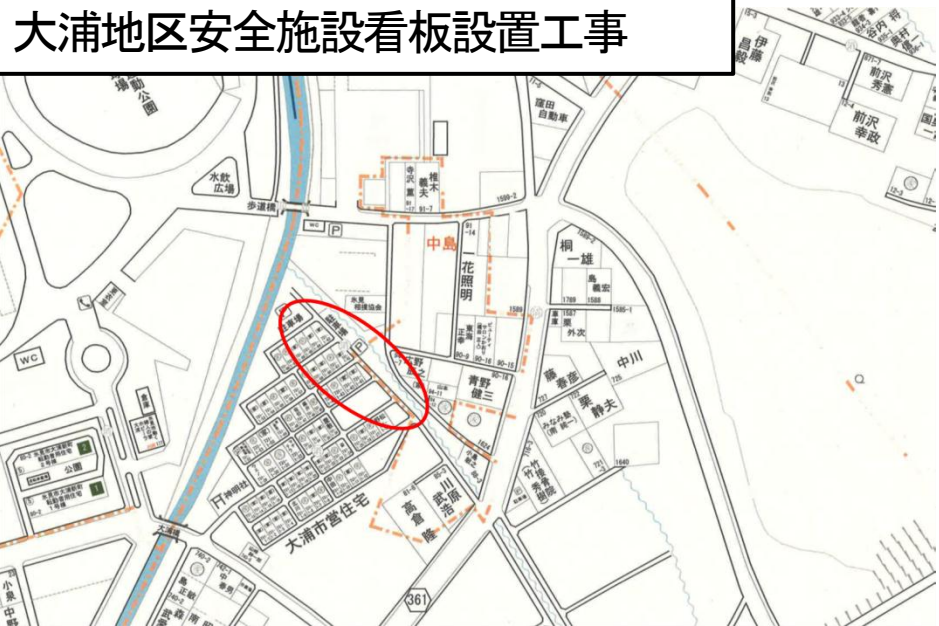
大浦地区舗装本復旧工事



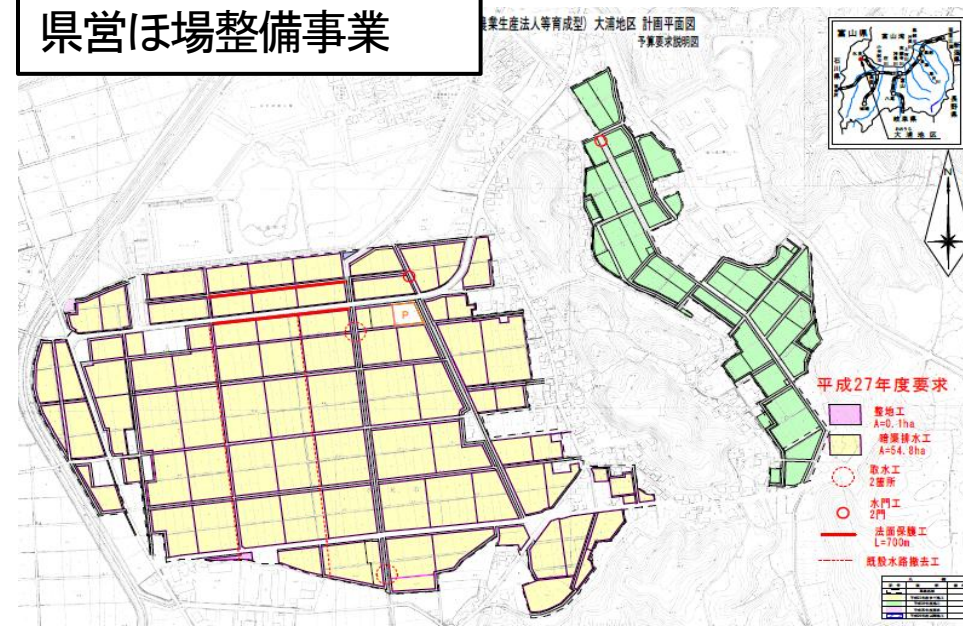
急傾斜地崩壊防止対策測量設計委託



大浦地区安全施設看板設置工事



県営ほ場整備事業



実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施(7月26日)	5,000	健康課	
H27	幼児食らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食生活等の改善を図る。(11月19日)	7,000	健康課	
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(10月3日)	5,000	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(6月7日)	2,100	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。	3,000	健康課	予定
H27	子育て広場	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(12月2日)	2,000	健康課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	健診PR活動(旗立て)	受診勧奨のため、地区内に健診PRの旗をたてる(7~9月)	2,000	健康課	
H27	道路の原材料支給事業	(蒲田) U字溝600型 30m	180,468	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	(堀田) 簡易舗装材 20m3	162,000	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	(神代) 簡易舗装材 20m3	194,400	建設課	
H27	土地改良支援事業	(蒲田) ため池修繕	100,000	建設課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等) へ支援 大浦(3,239,580円)、堀田(1,832,400円)、神代(1,577,220円)、蒲田(419,120円)	7,068,320	農林畜産課	
H27	里山再生整備事業	里山林整備 県民参加の森づくり (蒲田)	3,056,000	農林畜産課	
H27	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修) 営農活動(農業機械購入等)への支援 堀田(284,703円)、蒲田(831,804円)	1,116,507	農林畜産課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	氷見市有害鳥獣被害 防止対策補助金	電気柵 堀田 3件	57,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害 防止対策補助金	電気柵 大浦 2件	10,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害 防止対策補助金	電気柵 蒲田 1件	280,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害 防止対策補助金	電気柵 神代 2件	469,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
		H27計	12,719,795		

質疑応答

地方創生について

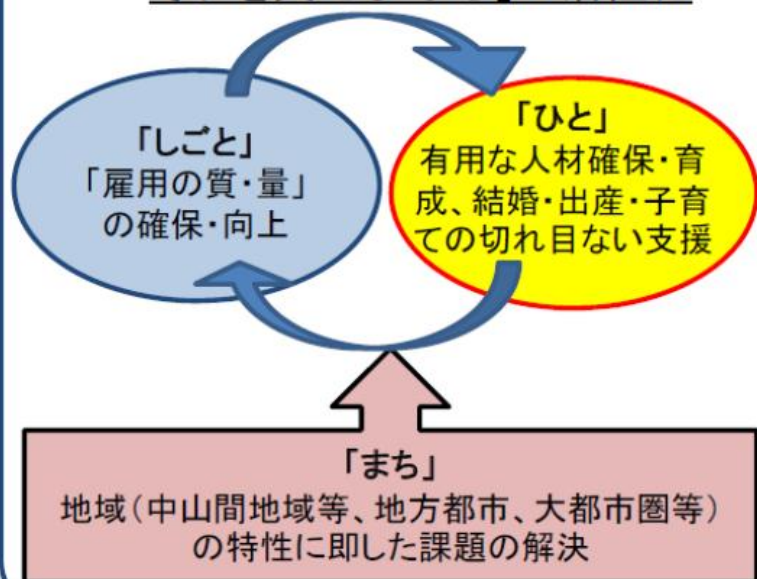
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「バラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定 } 「地方人口ビジョン」
- ・行政と地域住民の意識共有 } 「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」: 人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」: 人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、
産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

<地方人口ビジョン>

- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

<地方版総合戦略>

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

基本目標Ⅰ

(安定した雇用を創出する)

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本目標Ⅱ

(新しいひとの流れをつくる)

「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する

基本目標Ⅲ

(結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

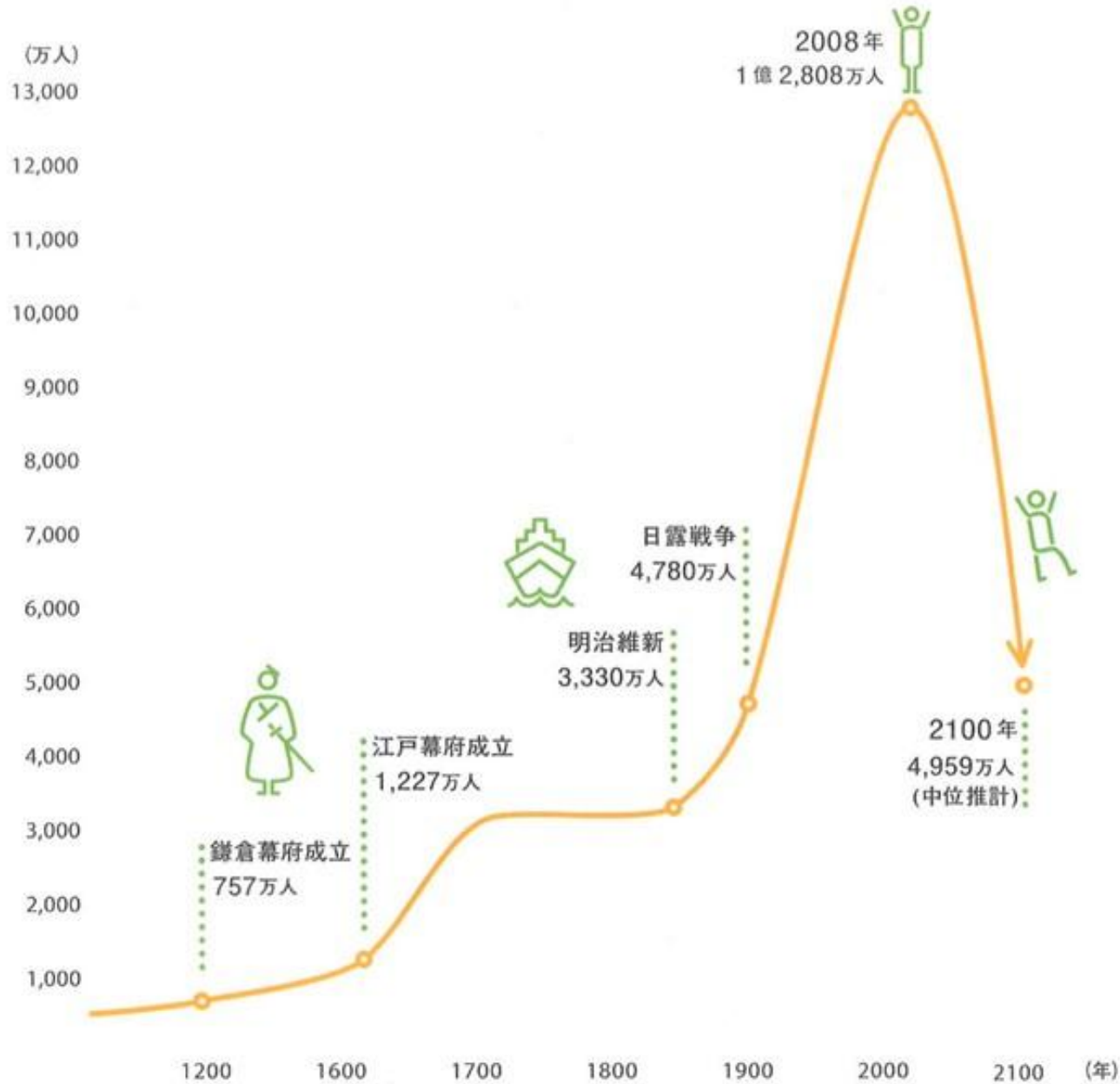
氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本目標Ⅳ

(時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する)

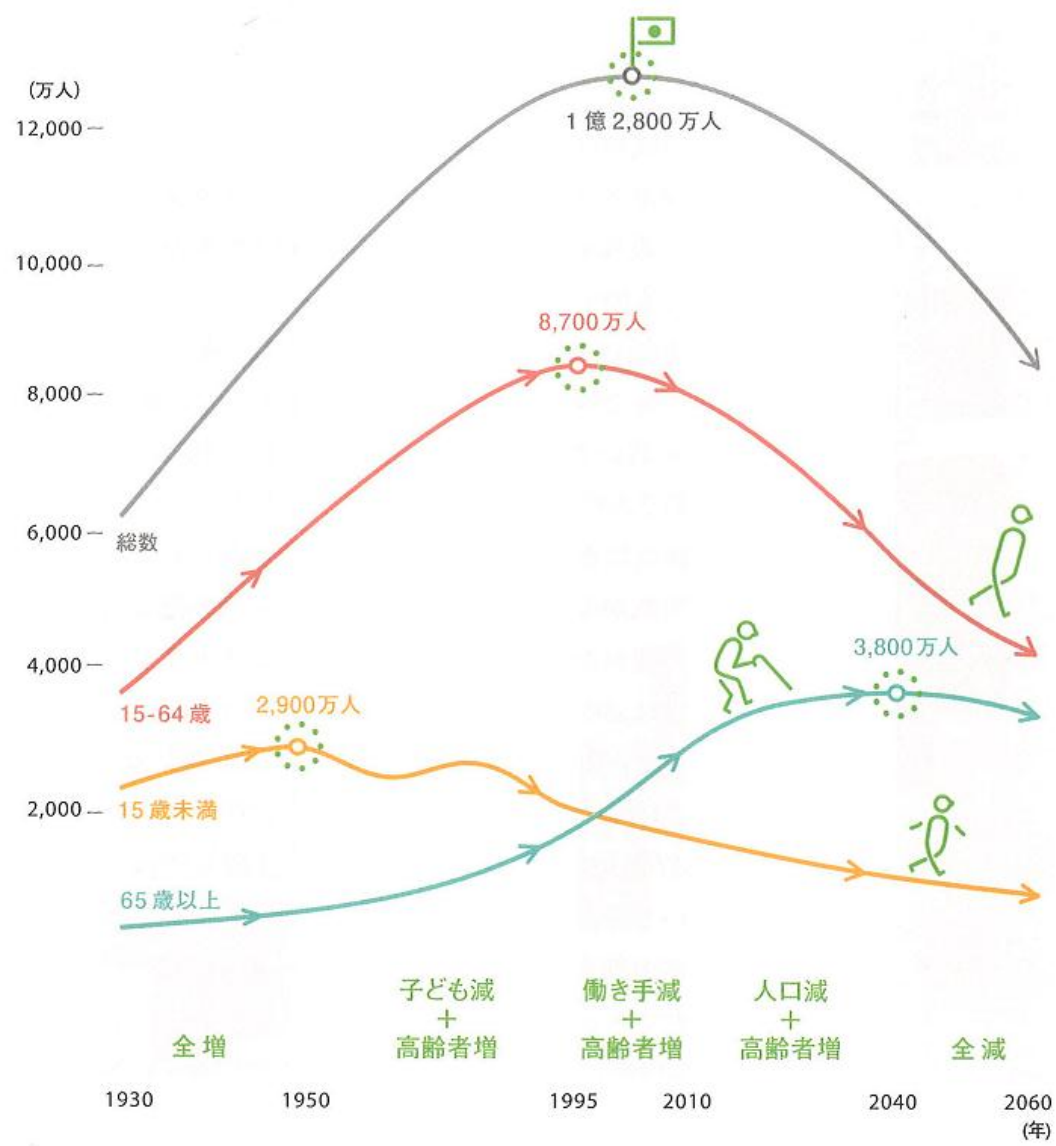
住み続けられる持続可能なまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

日本の総人口の超長期推移（- 2100年）



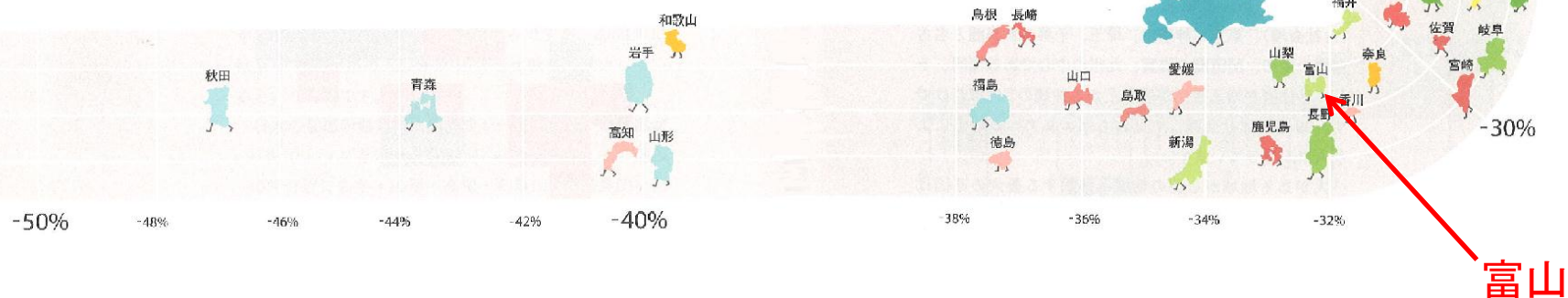
出典：人口減少×デザイン
著 覧 裕介

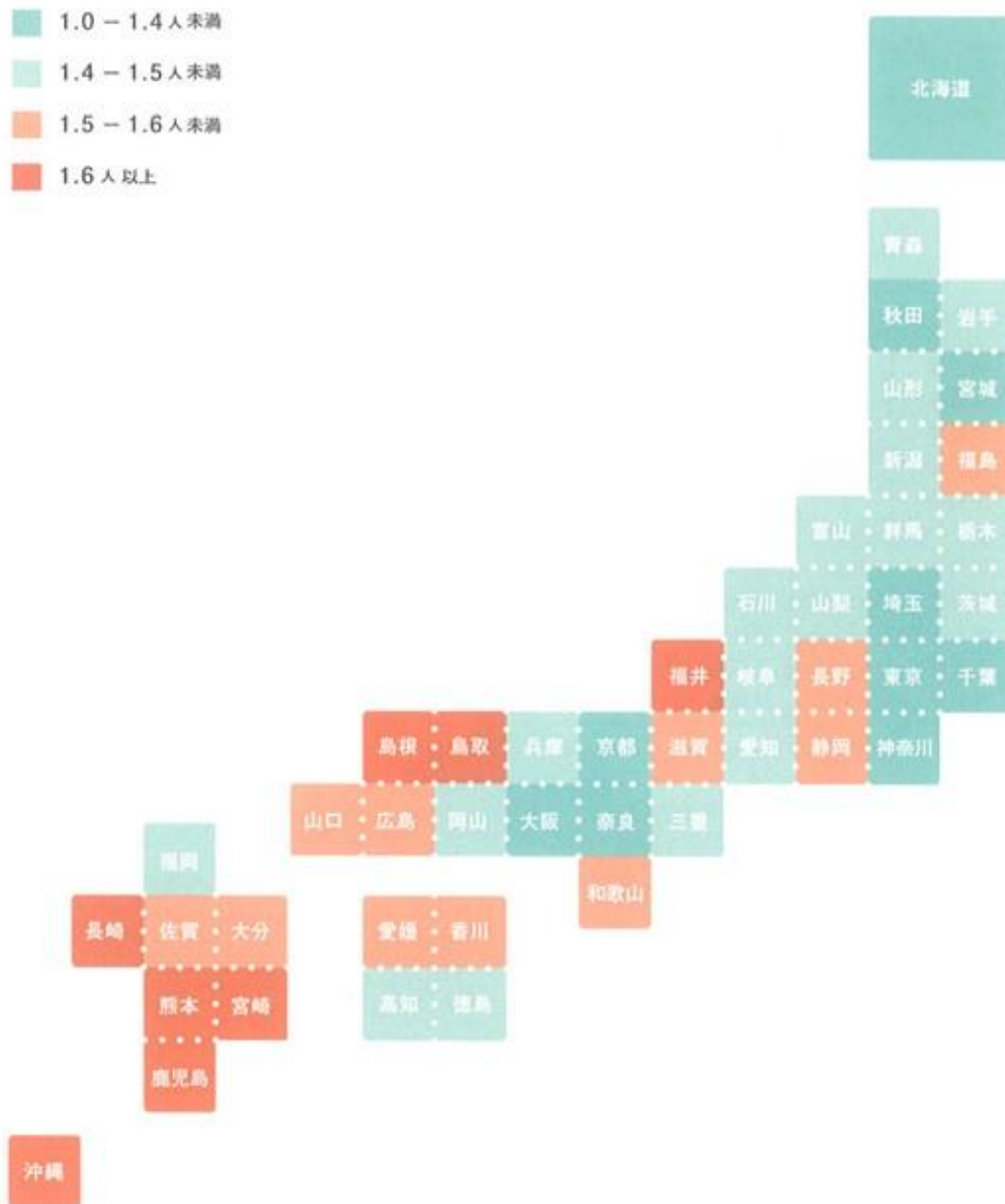
3 区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



2050年における都道府県別人口減少率（2010年比）

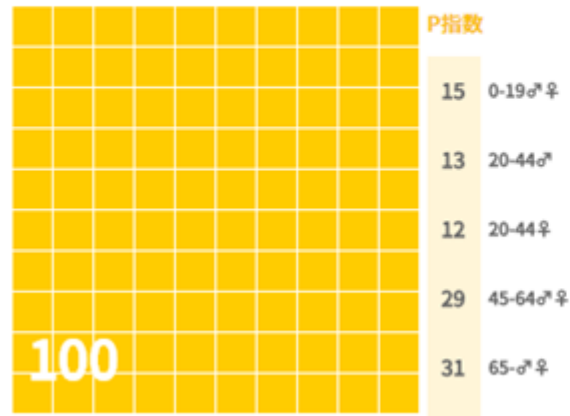
	2020年	2030年	2040年
1 秋田県	-11.7%	秋田県 -23.8%	秋田県 -35.6%
2 青森県	-10.0%	青森県 -21.0%	青森県 -32.1%
3 高知県	-9.3%	高知県 -19.5%	高知県 -29.8%
4 岩手県	-9.3%	岩手県 -19.4%	岩手県 -29.5%
5 山形県	-9.1%	山形県 -18.8%	山形県 -28.5%
43 滋賀県	+0.2%	滋賀県 2.7%	神奈川県 -7.8%
44 愛知県	+0.4%	愛知県 -2.5%	愛知県 -7.5%
45 神奈川県	+0.6%	神奈川県 2.4%	滋賀県 7.2%
46 東京都	+1.2%	東京都 -1.5%	東京都 -6.5%
47 沖縄県	+1.7%	沖縄県 +0.9%	沖縄県 -1.7%





出典：人口減少×デザイン
著 筧 裕介

2010

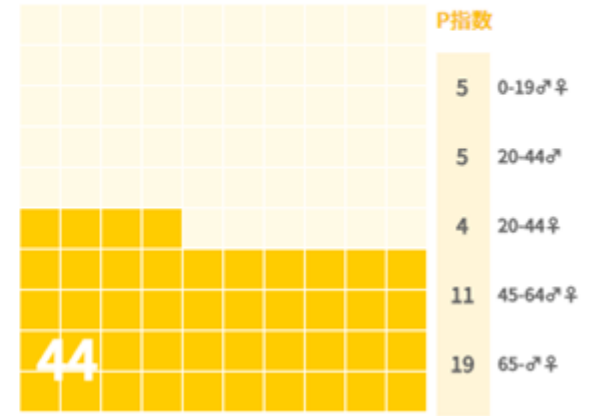


+

人口減少
対策を行わない

=

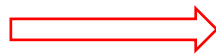
2060



氷見市全体の20～39歳までの女性人口

2010年

4,824人



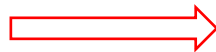
2060年

1,476人

神代地区の20～39歳までの女性人口

2010年

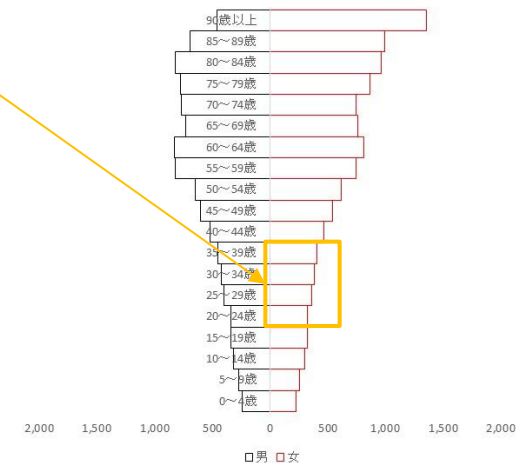
173人



2060年

53人

2060年の人口構成（氷見市全体）



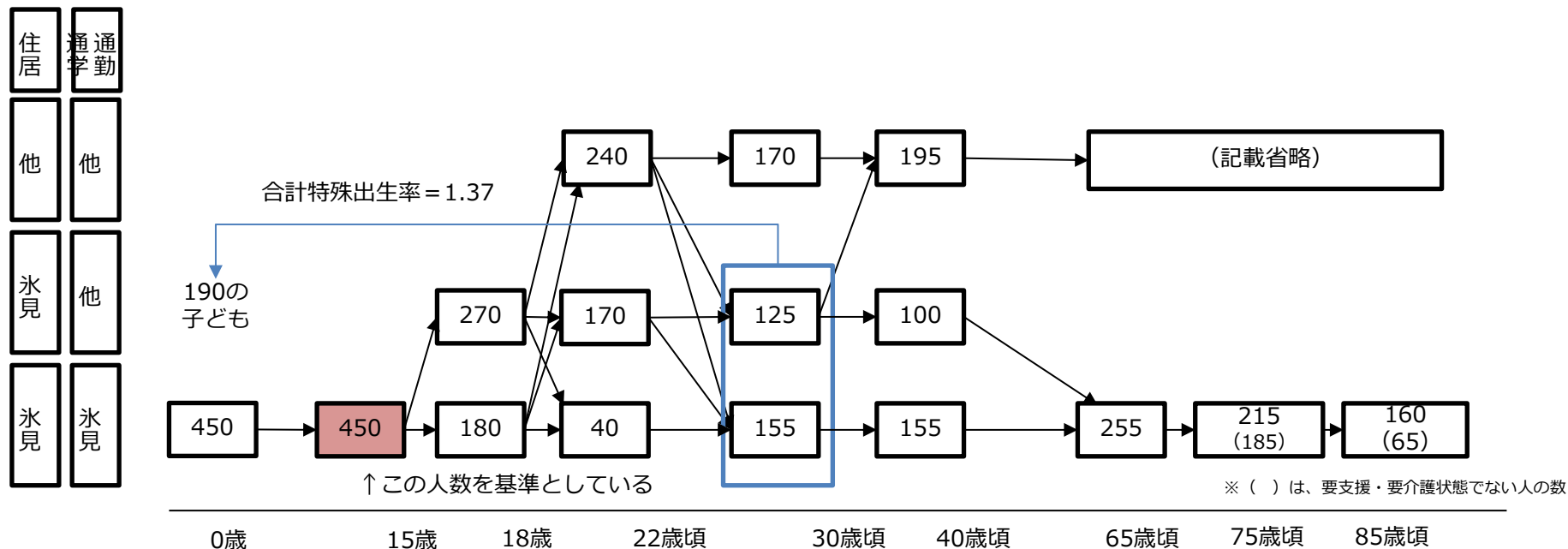
※神代地区の2060年の20～39歳までの女性人口については、神代地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出

※2060年の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所の算定式をベースとした推計値を利用

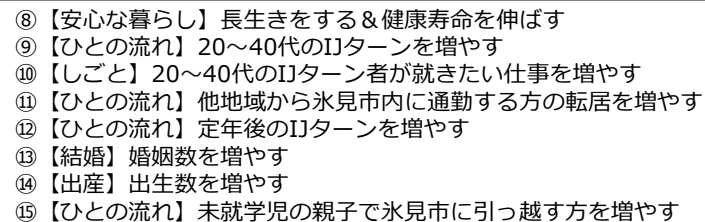
出典：issue+design <http://issueplusdesign.jp/jinkogen/>

【現状】氷見市の中学生が卒業後に、どこに居住・通勤通学をするか？（※単位：人）

※450人（平成23年度～平成26年度に氷見市内の中学校を卒業する人数を参考とした数）を基準とした



※上記のモデルは、氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、resas『富山県氷見市 年齢階級別純移動数の時系列分析』、S55～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」および「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、resas経由で取得した『人口動態調査』、公益財団法人 生命保健文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」総務省「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。



人口流出を防ぐ／流入を増やすために現状から積み増したい具体的人数

年あたり純移動数の増加人数
※現在の純減数を基準として、年間で更に積み増す目標人数

氷見市全体

神代地区の場合

(氷見市全体の1／29の人数を記載)

【観点との関連】

⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす

※高卒の仕事に就いた瞬間に純増しないと想定されるので、ゼロとした
(⑤と⑪に寄与することを想定)

②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす

③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす

④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす

⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす

⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす

⑨【ひとの流れ】20～40代のIターンを増やす

⑩【しごと】20～40代のIターン者が就きたい仕事を増やす

⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす

⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす

全体	150人の 純増
0～4歳→5～9歳	15
5～9歳→10～14歳	0
10～14歳→15～19歳	0
15～19歳→20～24歳	0
20～24歳→25～29歳	75
25～29歳→30～34歳	20
30～34歳→35～39歳	20
35～39歳→40～44歳	5
40～44歳→45～49歳	0
45～49歳→50～54歳	0
50～54歳→55～59歳	0
55～59歳→60～64歳	0
60～64歳→65～69歳	15
65～69歳→70～74歳	0
70～74歳→75～79歳	0
75～79歳→80～84歳	0
80～84歳→85～89歳	0
85歳以上→90歳以上	0
合計	150

約0.5人

約2.6人

約0.7人

約0.7人

約0.2人

約0.5人

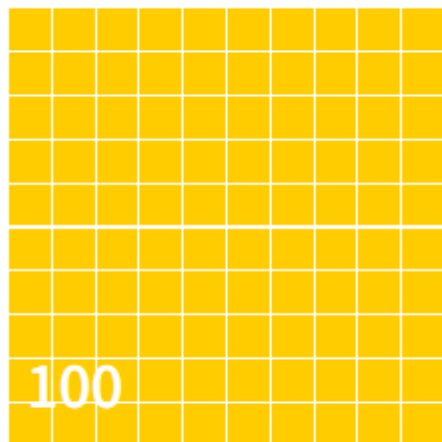
約5.2人

※人数配分については、推進協議会を経た後で変える可能性があります

※社会純増の人数は年間の人数。推計条件に従った厳密な計算では、5年間の社会純増数を5で除いたものです。例えば、150人の純増のうち、20～24→25～29歳の人数は75人ですが、推計上は5年で375人という単位で計算したものです

合計特殊出生率が上昇し、前ページの目標（積み増したい人数）を達成した場合の神代地区の人口

2010



合計 約51,000人

+

合計特殊出生率

1.37 → 2.07
にする

転入者数（年間）

1. 8人増やす

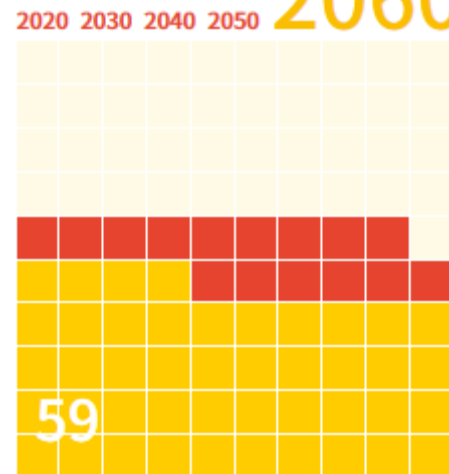
転出者数（年間）

3. 4人減らす

※もしくは戻って来る
人を3. 4人増やす

=

2060



合計 約23,000人 → 30,000人

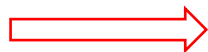
30

2060年の人口構成（氷見市全体）

氷見市全体の20～39歳までの女性人口

2010年

4, 824人



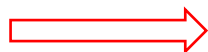
2060年

2, 880人

神代地区の20～39歳までの女性人口

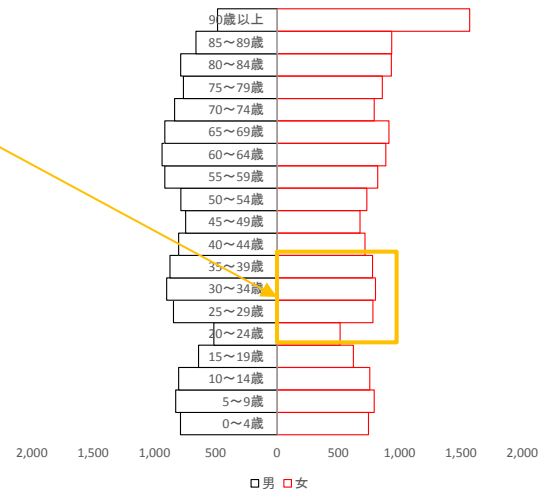
2010年

173人



2060年

103人



※神代地区の2060年の20～39歳までの女性人口については、神代地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出
※2060年の人口構成は、氷見市人口ビジョンより

デザインはissue+design <http://issueplusdesign.jp/jinkogen/>より。推計結果については、氷見市の人口ビジョンの人口目標を利用

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1. 神代地区へ、転入者を毎年1.8人多く増やすために、
どんなことをすればよいでしょうか。

Q 2. 神代地区から転出者した方を、毎年3.4人多く戻すために、
どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

